

同時資料配布先：

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

2018年11月15日

次世代型膜モジュール技術研究組合

第8回 革新的 CO<sub>2</sub> 膜分離技術シンポジウム  
～ 地球温暖化防止に貢献する膜分離技術の最新動向 ～  
開催について

当組合は、広くご関係の皆様にご紹介するため、2019年1月18日に「第8回革新的 CO<sub>2</sub> 膜分離技術シンポジウム」を開催致します。

CO<sub>2</sub> 膜分離技術は、温暖化対策の重要な選択肢の一つである CCS (Carbon dioxide Capture and Storage) における低コストな CO<sub>2</sub> の分離・回収技術として期待されています。

本年のシンポジウムでは、基調講演として、公益財団法人地球環境産業技術研究機構の茅陽一理事長、また、招待講演として、オハイオ州立大学の W. S. Winston Ho 教授、Membrane Technology & Research, Inc. の Tim Merkel 博士、大崎クールジェン株式会社の相曾健司代表取締役社長を迎え、CCS、膜分離技術、CO<sub>2</sub> 分離膜の適用が期待される IGCC (石炭ガス化複合発電) などの最新動向やトピックスについてご講演頂きます。

また、当組合が開発している CO<sub>2</sub> 分離膜技術の最近の進捗に加え、海外の CO<sub>2</sub> 分離回収技術の最新動向についてもご報告いたします。

CCS や膜分離技術にご関心をお持ちの皆様には、最新動向をお聞き頂ける絶好の機会ですので、是非ご参加下さいませようご案内申し上げます。

※次世代型膜モジュール技術研究組合

(組合員：住友化学株式会社、公益財団法人地球環境産業技術研究機構)

## 1. 開催趣旨

パリ協定では、世界共通の長期目標として、世界全体の平均気温上昇を産業革命前に比べ 2°C 未満に十分に抑えることが設定され、また、1.5°C に抑える努力を追求することに言及されました。この目標を達成するためには抜本的な CO<sub>2</sub> 削減が必要であり、その対策技術の重要な選択肢の一つとして、二酸化炭素回収・貯留 (CCS : Carbon dioxide Capture and Storage) が挙げられます。

次世代型膜モジュール技術研究組合は、CCS における CO<sub>2</sub> の分離回収技術として、効率的な石炭ガス化発電として期待されている IGCC 等で発生する圧力を有するガスから低コストで CO<sub>2</sub> の分離回収を行う革新的な二酸化炭素分離膜の開発 (二酸化炭素分離膜モジュール実用化研究開発) を国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) からの委託事業として進めています。

本シンポジウムでは、当技術研究組合が開発している CO<sub>2</sub> 分離膜技術や国内外での二酸化炭素分離回収技術の研究開発動向について報告し、最新の情報について知っていただくことを目的として開催いたします。

## 2. 開催概要

主催： 次世代型膜モジュール技術研究組合

(組合員：住友化学株式会社、公益財団法人地球環境産業技術研究機構)

共催： 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

後援： 日本 CCS 調査株式会社、Global CCS Institute、  
公益社団法人新化学技術推進協会

協賛： 日本膜学会、公益社団法人化学工学会、公益社団法人高分子学会、  
公益社団法人日本化学会

日時： 2019年1月18日(金) 13時～17時(受付開始12時30分)

会場： 東京大学 伊藤謝恩ホール(本郷キャンパス 赤門東隣り) 定員 396席

参加費： 無料

プログラム(敬称略)：

- ・ 基調講演 「温暖化対策目標をめぐって」  
公益財団法人地球環境産業技術研究機構 理事長 茅 陽一
- ・ 招待講演① 「New Amine-Based Membranes for Post- and Pre-Combustion CO<sub>2</sub> Capture」  
The Ohio State University Prof. W.S. Winston Ho
- ・ 招待講演② 「CO<sub>2</sub> capture with membranes :  
lessons learned from field trials in the USA 」  
Membrane Technology & Research, Inc.  
Vice-President of Technology Dr. Tim Merkel
- ・ 招待講演③ 「大崎クールジェン CO<sub>2</sub> 分離・回収型酸素吹 IGCC 実証試験の進捗について」  
大崎クールジェン株式会社 代表取締役社長 相曾 健司
- ・ 活動報告① 「次世代型膜モジュール技術の進捗について」  
次世代型膜モジュール技術研究組合 専務理事 中尾 真一
- ・ 活動報告② 「海外の CO<sub>2</sub> 分離回収技術の最新動向」  
次世代型膜モジュール技術研究組合 主任研究員 甲斐 照彦  
(詳細は別紙をご参照ください。)

## 3. 参加登録

参加を希望される方は、下記 RITE ウェブサイトよりお申し込み下さい。

<http://www.rite.or.jp/news/events/>

#### 4. プレス登録

取材を希望される報道関係者の方も、事前にお申込み下さいますようお願い致します  
(やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参下さい)。

お問合せ先

○シンポジウムの内容・参加登録に関するお問合せ先：

- ・次世代型膜モジュール技術研究組合 馬場、菰野、大西  
TEL : 0774-75-0230 E-mail : mgmsympo@rite.or.jp

○本プレス発表に関するお問い合わせ先：

- ・公益財団法人地球環境産業技術研究機構  
企画調査グループ 広報・産業連携チーム 中村、辰巳  
TEL : 0774-75-2301 E-mail : pub\_rite@rite.or.jp